

舗装個別施設計画

令和8年3月 福岡県中間市

目 次

1. 舗装の現状と課題

1.1 管理道路の現状

1.2 舗装の状態

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

2.2 管理道路の分類（グループ分け）

2.3 管理基準

2.4 点検方法・点検頻度

3. 計画期間

4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

1. 舗装の現状と課題

1.1 管理道路の現状

(1) 管理延長と舗装延長(令和7年度現在)

道路区分	管理延長	舗装延長	
		A s 舗装	C o 舗装他
1 級市町村道	17.00 k m	16.98 k m	0.02 k m
2 級市町村道	17.05 k m	16.31 k m	0.74 k m
その他市町村道	222.45 k m	203.63 k m	18.82 k m
計	256.50 k m	236.92 k m	19.58 k m

※A s 舗装に簡易舗装を含まれる

1.2 舗装の状態

・「総点検実施要領（案）【舗装編】」（国土交通省道路局：平成25年2月）を基に、平成25年度に点検した222.1kmの診断結果は以下のとおりである。

	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ
分類Cの道路	12.4km	9.1km	12.6km
分類Dの道路	78.2km	51.5km	58.3km

【参考】

区分		状態
I	健全	損傷レベル小：管理基準に照らし、劣化の程度が小さく、舗装表面が健全な状態である。
II	表層機能保持段階	損傷レベル中：管理基準に照らし、劣化の程度が中程度である。
III	修繕段階	損傷レベル大：管理基準に照らし、それを超過している又は早期の超過が予見される状態である。

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

舗装の個別施設計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで、道路舗装の長寿命化や舗装の維持修繕費のライフサイクルコスト（LCC）削減を目指す。

2.2 管理道路の分類（グループ分け）

- ・市道等級、道路幅員等を踏まえ分類

分類	対象道路
分類Cの道路	片側1車線以上の1・2級市道
分類Dの道路	上記以外の道路

【参考】

分類	特性
A 高速道路	高規格幹線道路(高速走行等求められるサービス水準が高い道路)
B 直轄国道	損傷の進行が早い道路(大型車交通量が多い道路)
C 1・2級市道	損傷の進行が緩やかな道路(大型車交通量が少ない道路)
D その他の市町村道	損傷の進行が緩やかな道路(生活道路)

2.3 管理基準

- ・MC I（0.0～5.0未満）を舗装補修対応とする。

※MC Iとは、路面の評価（維持管理指数）のこと。評価区間毎に算出した「ひび割れ率」「わだち掘れ量」および「平坦性」を計算式に代入して、総合的に路面の計算をすること。

2.4 点検方法・点検頻度

	点検方法	点検頻度
分類Cの道路	路面性状調査	10年に1度
分類Dの道路	巡視の機会を通じた路面状況把握	

3. 計画期間

- ・当該個別施設計画の計画期間は、令和8年～令和12年とする。

4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

- ・舗装損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し補修の優先順位を決定する。なお、経年劣化やその時分の社会状況及び中間市の予算状況により、対策路線の追加、優先順位の変更等の修正を適宜行う。

5. 対策内容、実施時期

- ・別一覧表のとおり

